

2003年1月6日

薬害オンブズパーソン会議
代表 鈴木利廣様

公開質問書に対する回答書

民主党政策調査会長
枝野幸男

貴団体から党代表宛てに送付された質問書に対して所管の当職より、以下のとおり回答致します。

1. 参議院での個別委員会における慎重審議、決議等は、民主党の強い要求に基づいて、参議院がその機能発揮した成果であると受け止めています。
2. 衆議院における審議方法については、与党の強い主張に基づき、全会一致で決定されたものです。民主党は、衆参両院による役割分担、連携がなされ、全体として慎重な審議が確保されることを前提に了解しました。
3. 特に医療機器総合法案については、他の独立行政法人法案等とは全く異なる中身であるため、厚生労働委員会にて審議するべきであるとの認識に立って、参議院で徹底した慎重審議を追求し、その結果として決議等を獲得したものです。
4. 今後とも私たちは、薬害の再発を防止し、被害の救済の充実を図るべく、薬害被害者の方々のご意見を反映した制度の具体化に尽力して参ります。薬害被害者の方々と厚生労働省の協議については、民主薬害・血液対策作業部会等を活用するなどして、これまでも協議の場の設定に努めて参りました。今後ともなお一層薬害被害者の方々のご意見を反映させるべく、尽力して参ります。

以上